

mizuma

河泉会 広報誌

第 22 号 / 2014 年 7 月

新
生

発行：河泉会（大阪河崎リハビリテーション大学同窓会）

巻頭言

「あらためて…。言語聴覚士をよろしく！」



大阪河崎リハビリテーション大学
リハビリテーション学部
リハビリテーション学科
教授/専攻長 木村 秀生

暑さが日ごとに増してまいりましたが、河泉会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、常日頃から大阪河崎リハビリテーション大学の教育、研究、運営等について何かとご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

私は今年 4 月より言語聴覚学専攻の専攻長を勤めさせていただいております。本学に着任いたしましたのは 2010 年 4 月です。それまでは、京都府内の小児総合療育センターで 20 年近く勤務しておりました。従って、専門学校時代及び大学 1 期の卒業生の皆様には今回が初めてのご挨拶になるかと思えます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、1999 年 3 月に第 1 回国家試験が実施され、4003 名の国家資格としての言語聴覚士（以下 ST）が誕生して今年でようやく 15 年が過ぎたところですが、現在では全国で 22000 名以上の有資格者がいるとされています。そのうち 70%近くが 20 歳代、30 歳代の ST です。このように有資格者総数、世代構成共に PT、OT に比しまだまだ「若い」これからの職種です。このような ST 養成の歴史の中で本学言語聴覚学専攻も今春は第 5 期生が卒業し現場へと旅立ち、また第 9 期生を新入生として迎えるに至りました。河泉会の中でもまだまだ「少数派」であるとは思いますが是非よろしくお願ひいたします。

この 6 月に「言語聴覚士とはなにか～あるべき姿を再考する」というテーマのもとに開催されました第 15 回言語聴覚学会のシンポジウムに於いて PT、OT の先生方から ST との連携の必要性が患者様の為にも、また相互の職域を拓げ豊かにしていく為にも不可欠との熱い発言が相次ぎました。ST が主に対象とするコミュニケーションは人間関係の基盤であり、摂食・嚥下は生存の基盤です。従って、その基盤にアプローチする ST は、「全人的復権」というリハビリテーションの大きな目的の大切な一翼を他職種の皆様と「共に担う」ことになると思います。この「共に担う」実践について協議し深めていく場として 3 専攻の卒業生の会でもある河泉会は大きな可能性を含んでいるのではと考えています。その為には河泉会の中で ST の活動が私達大学教員も含めて更に活発にならなければならないとも考えます。松田会長からも今までにも増して会への ST の貢献がまず私達教員を先頭に求められているとも感じています。例えば、成人関係はもちろんのこと私の専門である小児領域などでも将来的に 3 専攻卒業生共通の話題で取り組めることがあればと思います。そのような取り組みが相まって大学教育での 3 専攻連携の内容にも反映していくことになっていくはずですが、ともあれ、表題にもしましたが、あらためて「言語聴覚士」を是非よろしくお願ひいたします。

H25 年度 総会・講演会 報告

平成 26 年 3 月 9 日（日）に平成 25 年度河泉会総会、講演会が行われましたのでご報告致します。

- 1、日時 : 平成 26 年 3 月 9 日（日） 13:00～13:30 総会
13:40～ 講演会
- 2、会場 : 大阪河崎リハビリテーション大学 中講義室
- 3、次第 : 第 1 号議案：平成 25 年度活動報告
第 2 号議案：平成 25 年度会計報告
第 3 号議案：平成 26 年度活動予定
第 4 号議案：平成 26 年度予算案
- 4、出席者 : 出席者：○名＋委任状提出者○＝計○名（当日会員数 391 名）

5、開催結果

第 1 号議案から第 4 号議案まで、異議無く賛成多数で原案通り承認可決されました。
平成 25 年度会計報告、平成 26 年度予算案については、以下に報告させていただきます。

平成 25 年度収支決算総括表

科目	一般会計	特別積立金	会計
1. 収入の部			
会費収入	343,000	0	343,000
当期収入合計	343,000	0	343,000
前期繰越収支差額	5,413,152	0	5,413,152
収入合計	5,756,152	0	5,756,152
2. 支出の部			
管理費	0	0	0
事業費	440,609	0	440,609
当期支出合計	440,609	0	440,609
当期支出差額	-97,609	0	-97,609
次期繰越収支差額	5,315,543	0	5,315,543

単位：円

平成 26 年度予算案

1. 管理費	各委員雑費	30,000	
	理事会費	60,000	
2. 総会費	機関紙代	100,000	印刷代
	葉書・封筒代		葉書・封筒・タックシール代
	郵送代	50,000	郵送代
3. 講演会費	機関紙代	100,000	印刷代
	葉書・封筒代		葉書・封筒・タックシール代
	郵送代	50,000	郵送代
	講師代	100,000	講師謝礼
	資料代	5,000	資料印刷代
4. 卒後教育	講師代	240,000	スキルアップ / スキンシップ 講座 講師謝礼×4 回
	就職支援	資料代	20,000
学生交流	郵送代	50,000	スキルアップ / スキンシップ 講座 案内郵送費
	泉華祭ブース代	30,000	学園祭準備代
合 計		835,000	

単位：円

6、講演会報告

『平成 26 年診療報酬改訂と今後の医療・介護について』をテーマに、松田洋平先生（河崎医療技術専門学校 理学療法学科 1 期生、河泉会会長）に講義して頂きました。講演会のテーマである『平成 26 年診療報酬改定』について一部を以下に記載致します。

病床の機能分化促進のため、7 対 1 看護の要件が厳格化された。重症度、医療・看護必要度要件の変更と並んで、自宅等に退院した患者の割合が 75%以上という要件が設定された。疾患別リハビリテーション料等を算定する場合、ADL 維持向上等体制加算は算定できない。脳卒中病棟や整形外科病棟では、メリットがない。高齢者が多い呼吸器病棟や循環器病棟が主な対象となる。

地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）では、専従療法士配置が義務づけられ、リハビリテーションを施行する患者には、1 日 1 人平均 2 単位以上のリハビリテーション施行が必要となる。包括医療であり、積極的なりハビリテーション施行が必要な患者が多ければ、持ち出しが増えることになる。

廃用症候群に対するリハビリテーション料は大幅に引き下げられ、かつ、「心大血管疾患リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料、障害児(者)リハビリテーション料、がん患者リハビリテーション料の対象となる患者を除く。」という要件が加えられた。さらに、廃用症候群に係る評価表が、毎月 FIM か BI の点数を記載する などより厳密になった。

当該保険医療機関において、摂食機能療法に専従の常勤言語聴覚士が 1 名以上勤務していること。ただし、ADL 維持向上等体制加算、回復期リハビリテーション病棟入院料、地域包括ケア病棟入院料及び地域包括ケア入院医療管理料を算定している病棟の配置従事者と兼任はできないが、摂食機能療法を実施しない時間帯において、脳血管疾患等リハビリテーション、集団コミュニケーション療法、がん患者リハビリテーション及び認知症患者リハビリテーションに従事することは差し支えない。

大学より案内



河崎医療技術専門学校 第一期生の方々に始まり、
大阪河崎リハビリテーション大学 第五期生の方々に。



キャリアセンター 3号館2階(元専門学校棟)に設置

キャリアセンターでは、就職や講習会などへの参加について、皆さんのお役に立てるよう、ご協力させていただいておりますので、お気軽にお立ち寄りください。教職員一同、楽しみにお待ちしております。皆さんのセラピストとしての更なるご活躍を願っております。もし、お近くにリハビリに興味を持っている方がおられましたら、お声をかけていただければ幸いです。

平成26年度 園芸療法実践勉強会の開催について

日時:平成26年10月18日(土) 10:00～15:00
場所:3号館3階(元専門学校棟)

大学主催の勉強会や公開講座などのイベントにも、是非ご参加ください。



大阪河崎リハビリテーション大学

言語聴覚学専攻 ◆ 作業療法学専攻 ◆ 理学療法学専攻

〒597-0104 大阪府貝塚市水間158番地

Tel. 072-446-6700

大阪河崎

検索

平成 25 年度 卒業生就職先一覧

理学療法学専攻

大阪府

浅香山病院
あつふる訪問看護ステーション
池田病院
市立吹田市民病院
いぶきの病院
大阪医科大学附属病院
大野記念病院
介護老人保健施設 くろいし
河崎病院
岸和田徳洲会病院
佐野記念病院
住友病院
高石藤井病院
永山病院
南堺病院
野崎徳洲会病院
ベルビア病院
堀病院
水間病院
耳原総合病院
明治橋病院
森之宮病院
友愛会病院
吉川病院

和歌山県

稲田病院
紀和病院
向陽病院
白浜はまゆう病院
角谷リハビリテーション病院
テイ・ヒースセンター チャー夢
寺下病院
中江病院
名手病院
西岡病院
橋本市民病院

兵庫県

笹生病院
そよかぜクリニック

香川県

橋本病院

作業療法学専攻

大阪府

愛仁会リハビリテーション病院
浅香山病院
泉大津市立病院
市立吹田市民病院
いぶきの病院
大阪リハビリテーション病院
河崎病院
木島病院
七山病院
清恵会三宝病院
野上病院
阪南市民病院
阪和第一泉北病院
水間病院
村田病院
吉川病院

和歌山県

紀和病院
国保日高総合病院
済生会和歌山病院
西岡病院
橋本市民病院
南和歌山医療センター

京都府

宇治病院

福岡県

北九州病院

言語聴覚学専攻

大阪府

葛城病院
河崎病院
彩都リハビリテーション病院
藤井病院
ボバース記念病院
永山病院
野上病院
八尾徳洲会病院
りんくう総合医療センター

和歌山県

紀和病院
琴の浦リハビリテーションセンター
中江病院
中谷病院

京都府

宇治徳洲会病院

スキルアップ・スキンシップ講座 感想

2014年5月11日(日)、『下肢関節疾患の理学療法について』をテーマに、平成26年度第1回スキルアップ・スキンシップ講座を開催致しました。今回は本道先生から感想を頂きましたので紹介致します
医療法人大植会 葛城病院 本道大地 (理学療法学専攻2期生)

今回、河泉会スキルアップ/スキンシップ講座に参加させて頂きました。下肢疾患の評価と治療ということで、下肢の機能解剖学や運動学の座学と、評価・治療技術の実技の講義をして頂きました。座学では基本的な解剖学や臨床での経験談などを講義下さり、実際の臨床への結びつけ方がわかりやすい内容でした。実技でも、丁寧に指導して頂け、充実した時間を過ごすことができました。

また、久々に学生時代の友人と会い、互いの近況や仕事に対する考え方などを話す機会があり、自己のモチベーションを高めることができました。河泉会のOB・OGの先生方は非常に勉強熱心で尊敬できる先生ばかりです。私も大学を卒業してから3年が経ち、職場では後輩も多く入職しております。河泉会の先生方のような知識・技術・向上心のある頼れる先輩になれるよう努力していきたいと思っております。

これからも河泉会のセミナーに参加し、知識・技術の向上はもちろんのこと、様々な病院・施設で活躍されている先生方と交流し、社会人として一人前になれるよう邁進していきたいと思っております。



河泉会 理事会 議事録

2014年2月

H25年度スキルアップ講座について

- ・2/5の講座は延期、2月末～3月で調整

25年度 総会について

- ・各役員の仕事の最終確認

実習前セミナー

- ・現在、講師は専門学校卒のみの為、大学卒の講師も検討

その他

- ・次期理事への送り込みの為、各役員のマニュアルを作成

2014年6月

H26年度スキルアップ講座について

- ・8月、11月の講座：講師ほぼ決定。今後内容打ち合わせを行う

7月の機関紙について

- ・次回総会にて役員選挙予定。立候補のお知らせは、年末 会員に送付する。

実習前セミナーについて

- ・講師案決定。依頼を行っていく。

2014年4月

H26年度スキルアップ講座について

- ・今年度は午前開始、夕方終了の講義とする
- ・5月の講座のタイムスケジュール、役員の役割の確認

7月の機関紙について

- ・記事内容の確認(泉華祭の案内を追加する)

実習前セミナーについて

- ・講師検討。次回6月の理事会で決定

泉華祭の催しについて

- ・催しの内容をどうするか。次回理事会で決定

消息不明者・異動届けについて

下記の方の連絡先が不明の為、郵送物等をお送りできない状態です。心当たりのある方は住所、連絡先、または勤務先をお知らせ下さい。

連絡先：事務委員 田中 康文 yasufumiguitar@yahoo.co.jp まで

理学療法学

専門学校 1 期卒 四方 佑紀、川崎久美子 専門学校 2 期卒 和田 優子、平吹 理恵
専門学校 3 期卒 井平 真由美、山坂 千明、塩見 昌代 専門学校 5 期卒 吉岡 久美、大崎 幸恵
専門学校 7 期卒 寺西 かな、小山 真由美
大学 1 期卒 出嶋 久美子 大学 3 期卒 大森 佳乃

作業療法学

専門学校 1 期卒 山本 由紀子 専門学校 2 期卒 小川 康裕
専門学校 3 期卒 花田 喜一郎 専門学校 4 期卒 帛田 峰次
専門学校 6 期卒 連 寿実、池内 恵実 専門学校 7 期卒 松井 慎一、大谷 葉月、楠本 泰寛
専門学校 9 期卒 今出 朱美、藤村 志津 大学 1 期卒 尾崎 麻里、堀江 友香里

言語聴覚学

大学 1 期卒 山田 みゆき 中村みゆき??

住所・勤務先 変更された方へ

住所・勤務先変更されましたら、郵送物の宛先変更の手続きが必要なため、異動届けを提出して頂く必要がございます。下記の方法で御連絡ください。

- ①大学ホームページへ移動
- ②ホームページ右上 『卒業生の方へ』へ移動
- ③『卒業生の方へ』のページ下にある『同窓会 「河泉会」』へ移動
- ④『入会届および住所変更など異動届のお願い』に記載されている方法をご参照の上、メールアドレスまでご連絡ください。

河泉会の皆様へ

河泉会では年2回（1月・7月）広報誌を発行しています。広報誌に掲載する記事を会員の皆様から受け付けています。内容・字数には制限はありませんが、主に下記の内容を考えています。河泉会活動の活性化のためにも振るって投稿して下さい。

- ・ 学術的な内容
- ・ 紀行文
- ・ 河泉会活動に対する提言または意見
- ・ 勉強会案内
- ・ 医療に関するトピックス

《 連絡先 》

新立 勇一（医療法人大植会 葛城病院 リハビリテーション部 理学療法課）

原稿の送信方法は新立まで直接メールでお願いします

連絡先：you_tatti@yahoo.co.jp

河泉会ブログ案内

勉強会の案内や卒業生が企画する勉強会・定期的な理事会など
ブログでも更新していきたいと思えます。

河泉会 ウェブリブログ×

Q 検索

<http://41413452.at.webry.info/>

携帯電話では右のQRコードも使用可能です。



編集委員

新立 勇一（理学療法学科 9期卒）
鶴井 明弘（理学療法学専攻 4期卒）
竹林 弘平（作業療法学専攻 2期卒）

本道 大地（理学療法学専攻 2期卒）
福本 竜太郎（理学療法学専攻 4期卒）
林 晃奈（言語聴覚学専攻 4期卒）

発行責任者

河泉会会長：松田 洋平
（理学療法学科 1期卒）